

## 第30回宇宙安全保障部会 議事要旨

### 1. 日時

平成30年11月12日（月） 13:00～14:00

### 2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

### 3. 出席者

#### (1) 委員

青木部会長、片岡部会長代理、折木委員、久保委員、白坂委員、中須賀委員、名和委員

#### (2) 事務局

宇宙開発戦略推進事務局 高田事務局長、行松審議官、山口参事官、須藤参事官、高倉参事官、森参事官、滝澤参事官、津井企画官

#### (3) 関係省庁等

内閣官房 国家安全保障局 伊藤内閣審議官  
外務省 総合外交政策局 宇宙室 山口室長  
防衛省 防衛政策局 戦略企画課 五味課長

### 4. 議事要旨

#### (1) 宇宙基本計画工程表改訂について

資料に基づき、事務局から説明があった。委員から以下の意見があった。

(以下、○意見等、●事務局からの回答)

○衛星ハードに関する施策はあり、良いものになっていくと思うが、制度や地上施設等についてもフォローをした方が良いのではないか。

○衛星データを取得した後にそれらの情報を統合していくという視点が重要になってくる。

○内閣サイバーセキュリティセンターでは、Mission Assurance を「任務保証」という訳語に変更した。宇宙基本計画工程表上は「機能保証」とされているが、用語の認識について齟齬は発生していないのか。

●現時点で用語の認識について齟齬は発生していないと思う。以前 Mission Assurance の訳語について検討した際、当面は「機能保証」という訳語をあてるものの、将来的には「ミッション・アシュアランス」になっていくのではないかという議論があった。今後用語については状況を確認した上で検討する。

#### (2) 静止リモートセンシング技術について

資料に基づき、中須賀委員より説明があった。委員から以下の意見があった。

(以下、○意見等、●中須賀委員の回答)

○静止合成開口望遠鏡の予算規模はどの程度か。

●5億円×衛星数に加え、打ち上げ費用が必要と見積もっている。

- 静止合成開口望遠鏡の実験について、オーストラリアと進めていくのか。
- オーストラリアは自国の衛星を保有したい意向もあるようで議論しているところ。  
我々としてはオーストラリアに対する教育も兼ねて一緒に検討していきたい。

以上